

平成28年度 第4回鹿児島空港周辺地域環境整備委員会

日時：平成29年3月1日（水）

午前10時～

場所：溝辺公民館（みそめ館）2階研修室

会 次 第

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 委員会の運営について
4. 報告事項
 - 1) 空港周辺地域環境整備事業予算関連について
 - 2) 平成29年3月26日のダイヤ改正について
5. 情報共有
 - 住民周知以降の状況について
6. 閉会

鹿児島空港周辺地域環境整備委員会 出席者名簿

委員

団体名	役職	氏名	備考
霧島市	企画部長	塩川 剛	委員長
元溝辺町議会事務局長・元霧島市合併協議会委員		今島 光	副委員長
陵北地区自治公民館	館長	今吉 法行	
大川内岡地区自治公民館	館長	今島 六男	
石峯地区自治公民館	副館長	大山 克志	代理
麓原地区自治公民館	館長	米丸 純一	
玉利地区自治公民館	館長	山下 初男	
陵南地区自治公民館	陵南東自治会長	重森 芳夫	代理
論地地区自治公民館	館長	徳永 利治	
三縄地区自治公民館	館長	東郷 護寛	
水尻横頭地区自治公民館	館長	重森 順一	
中福良地区自治公民館	館長	徳丸 靖人	
日当山地区自治公民館	館長	濱田 勝弘	
姫城地区自治公民館	館長	濱川 浩哉	
溝辺地区民生員児童委員協議会	溝辺地区民生委員児童委員	米丸 万里子	
溝辺地区自治公民館連絡協議会	会長	岩元 晃一	
迫間自治会	会長	末永 實	

鹿児島県

所属課	職名	氏名	備考
企画部交通政策課	課長	仲澤 純	
企画部交通政策課	航空対策係長	木下 栄一	
企画部交通政策課	主査	田中 秀一郎	

霧島市 (事務局)

所属課	職名	氏名	備考
企画部企画政策課	課長	堀切 昇	
企画部企画政策課	課長補佐	藤崎 勝清	
企画部企画政策課	主査	堀ノ内 周作	
溝辺総合支所地域振興課	課長	川崎 秀一郎	
溝辺総合支所地域振興課	地域振興グループ長	長丸 広美	
溝辺総合支所地域振興課	主査	有村 昌明	
溝辺総合支所地域振興課	主任主事	西野 克伸	

鹿児島空港周辺環境整備事業(平成29年度当初予算案)

1 事業目的

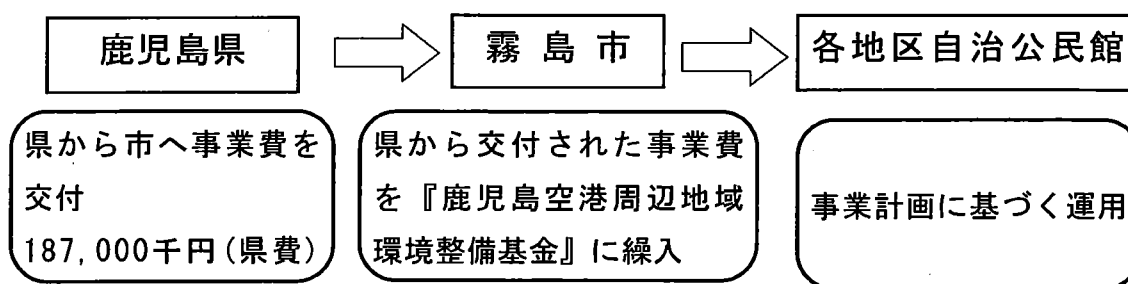
鹿児島空港の機能強化及び利用者利便向上を図り、空港と周辺地域の調和のとれた発展を推進するため、周辺地域(地区自治公民館)の環境整備を図ることを目的とする。

2 事業内容

県の交付を受け、霧島市は住民からの要望に基づき、溝辺・隼人地域の12地区自治公民館に対し、自由度が高く、地域活性化に資する事業等を支援する。

具体例：公民館の空調・防音サッシの設置等
公民館のバリアフリー化
運動用具の購入 等

《事業費の流れ》



平成29年度 霧島市一般会計当初予算（案）【空港周辺環境対策予算関連概要】	
＜鹿児島空港周辺地域環境整備基金＞ 187,621千円	
【内容・積算等】	
積立金	
①空港周辺地域環境整備基金利子	621千円
②空港周辺地域環境整備事業基金積立金	187,000千円
＜空港周辺地域環境整備事業（基金事業）＞ 198,803千円	
【内容・積算等】	
報償費	153千円
(空港周辺地域環境整備委員会 委員報償費)	
旅費	103千円
消耗品費	77千円
通信運搬費	129千円
負担金補助及び交付金	
継続事業	①テレビ受信障害防止対策補助 390世帯 1,100千円 ・1世帯当たり年間2,820円
	②空気調和機器機能回復補助 70台 10,241千円 ・更新事業 上限146,300円（自己負担5%）
新規事業	空港周辺地域環境整備事業 187,000千円
＜空港周辺地域住宅騒音防止対策事業（第1種区域対策）＞ 891千円	
【内容・積算等】	
旅費	55千円
消耗品費	40千円
負担金補助及び交付金	
①空気調和機器機能回復補助 4台	586千円
②空気調和機器稼働費補助 7世帯	210千円
・1世帯当たり年間3万円を上限	

鹿児島空港周辺地域環境整備基金事業実績

鹿児島空港周辺地域環境整備基金は、平成4年の鹿児島空港運用時間1時間延長の際に、下の表の事業項目を実施するため、旧溝辺町では鹿児島県が5億円、旧溝辺町が2億円、旧隼人町では鹿児島県が8千万円、旧隼人町が2千万円を出資して積み立てた基金で、残高は平成27年度末で321,788,000円です。

現在の基金活用計画といたしましては、表の右側の事業内容の欄に掲載している、基金事業で設置した空調機の更新（10年を経過して修理不能なクーラー）やNHKテレビ受信料の助成を引き続き行っています。

言葉の説明：基金とは、特定の目的のための資金として積み立てた財産で、いわゆる貯金のようなものです。

平成5年度～平成27年度集計				
番号	事業項目	件数	事業費	事業内容
1	空調機設置助成（クーラーの設置及び更新）	875	206,470,250	対象区域内に基準日以前から居住している住宅に設置した空調機の更新事業を継続中
2	NHKテレビ受信料助成	8,176	22,743,090	対象区域内に平成21年3月31日以前から居住している住宅を対象に継続中
3	集会施設等整備費助成（公民館修繕等）	31	82,200,000	事業完了
4	教育施設空調機整備	6	229,300,000	事業完了
5	共同受信施設機能回復助成	2	3,200,000	事業完了
6	事務費		15,504,633	
計	基金を活用した事業の合計額		559,417,973	
※教育施設空調機整備：陵南小学校（本館・別館）・陵南幼稚園・溝辺中学校・溝辺小学校・竹子小学校（陵南中学校は国の補助事業で整備）				
※共同受信施設機能回復事業：中福良・土橋、表木山・迫間の2箇所を整備				
①	基金積立額		800,000,000	
②	利子等積立額		81,205,973	
③	基金を活用した事業の合計額		559,417,973	
	基金残高（①+②-③）		321,788,000	・溝辺地区 292,916,448 ・隼人地区 28,871,552

鹿児島空港の運用時間 1 時間延長について

1 運用時間が延長される時間帯

現行の運用時間帯を更に前後 30 分延長する。

{	【現 行】 7 : 3 0 ~ 2 1 : 3 0 (1 4 時間)
	<u>【変更後】 7 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0 (1 5 時間)</u>

2 運用時間延長開始時期

平成 2 9 年 3 月 2 6 日 (日)

3 延長時間帯に設定されるダイヤ

航空会社	路 線	現 在	延 長 後
J A C	鹿児島 - 奄美	鹿児島 発 7:40 奄 美 着 8:45	<u>鹿児島 発 7:25</u> 奄 美 着 8:30
J A L	羽田 - 鹿児島	羽 田 発 19:00 鹿児島 着 21:00	羽 田 発 19:15 <u>鹿児島 着 21:05</u>
ソラシド	鹿児島 - 羽田	鹿児島 発 7:35 羽 田 着 9:15	<u>鹿児島 発 7:25</u> 羽 田 着 9:15
	那覇 - 鹿児島	那 覇 発 19:40 鹿児島 着 20:55	那 覇 発 19:50 <u>鹿児島 着 21:10</u>

※下線部分が、延長時間帯に該当

【国への要望（市長直接要望）】

平成28年11月15日、神戸市で開催された全国民間空港関係市町村協議会主催による「空港フォーラム in 神戸」に市長が出席し、フォーラムに出席されていた

- ・国土交通省航空局航空ネットワーク部 環境・地域振興課長 岡本誠司氏
- ・国土交通省大阪航空局長 干山 善幸氏

に対して、次のとおり中央要望を提出した。

鹿児島空港の騒音対策に関する中央要望

要望案件

国の重要施策であるインバウンド対策の強化や空港の利用促進に資するため、鹿児島空港の地元自治体である霧島市では、現在、鹿児島県とともに鹿児島空港の運用時間1時間延長に関して、地元住民の理解を得るための説明会を開催しております。

この中で、現状における鹿児島空港の騒音問題に関して、地元住民から極めて強い不満、要望が出されており、地元自治体としては空港の円滑な運用、周辺住民の福祉及び民生安定のため、運用時間の1時間延長に関わらず、鹿児島空港周辺地域の環境整備対策として次のとおり要望するものであります。

具体的要望

1. 騒音の発生源対策

(1) ヘリコプター及びセスナ機（小型航空機）の安全飛行及び騒音対策

- ①運行に関する規制及び管理、監督を強化すること。
- ②特に住宅地周辺における高度の確保、飛行及び旋回の回避を図ること。

(2) エンジンテストによる騒音対策

- ①鹿児島空港は離島便を抱えており、日本エアコミュータ機の整備拠点として頻繁にエンジンテストが行われている。これによる騒音の影響は極めて大きく、早急に防音壁やブラストフェンスの整備を強く求めるものである。

2. 空港の運用に関して、地元との協調、調和に十分配慮すること

防音壁については、国内では東京国際空港や関西国際空港、大阪国際空港などの大規模空港に設置されているのが現状であり、一朝一夕に解決できる問題ではないが、離島便を多く有し、コミュータ機の整備拠点空港である鹿児島空港においては、エンジンテストの回数も多いことから、引き続き空港の管理者である国に対し、県と共に粘り強く要望を重ねることとする。

【鹿児島空港事務所を通じた国への平成30年度予算要望】

平成30年度 空港整備事業要望事項提出 平成29年1月25日

国の平成30年度予算編成にあたり、鹿児島空港事務所を通じて国土交通省に対して次の項目を要望するものです。

なお、当該要望については、鹿児島空港事務所及び鹿児島県と調整し、3機関で要望を提出することといたしております。

項目 航空機エンジンテストによる騒音の発生源対策
○防音壁やブラストフェンスの整備

【鹿児島空港連絡会における情報共有】

平成29年2月15日に開催された鹿児島空港の航空関係者等で構成する鹿児島空港連絡会において、運用時間の1時間延長に関するこれまでの経緯等を説明し、地域住民の皆様の声に十分配慮した運航に努めていただくようお願いした。

【平成28年度全国民間空港関係市町村協議会 平成28年7月6日総会（霧島市長理事）】

運動方針・要望

環境対策の推進（発生源対策）

- ①低騒音機材の導入並びに優先滑走路方式の採用などの飛行経路・運航方式の改善により、航空機騒音の軽減に努めること。
- ②一般市街地を飛行するヘリコプター及び小型航空機については、騒音を低減させる運行をすること。